

財務諸表の見方

◆ 研修の概要

【内 容】 損益計算書や貸借対照表を使って社員として欠かせないコスト感覚や数字感覚を養います。御社の損益計算書と貸借対照表を題材に、グループ演習と発表を繰り返し実施することで、自社の企業活動への関心を高めることができます。

【到達目標】 財務諸表間の関係を知り、相互につながっていることを認識する。

【対象者】 管理職、営業担当、新入社員
 最適人数：20名

【コース日程】 1日間

【金額】 **講師費用、テキスト費用等**
 ご予算に応じてカスタマイズ可能です。ご相談ください。

◆ 候補講師

御社のご要望にあった数多くの研修実績と好評をいただいた税理士や中小企業診断士などの専門家を講師としてアサインします。

メイン講師 1名



◆ カリキュラム例

日程	形態	項目	内容
午前	座学 演習	財務諸表ってなに？	財務諸表に関する現状認識を確認するとともに、補正する。
		五勘定	財務諸表の基礎を成す五勘定について、講義を行う。
		損益計算書	損益計算書の意味、主な記載項目について、講義を行い、損益計算書への理解を深める。
		損益分岐点売上高 【演習】損益分岐点売上高算定	損益計算書から計算される損益分岐点売上高について講義を行い、実際に計算演習を行う。
午後	座学 演習	【演習】損益計算書を見る	各グループで平成18年度に対前年比で特に増減した項目を調べ、要因について想定し、グループごとに発表し、講師がコメントを行う。
		貸借対照表	損益計算書の意味、主な記載項目について、講義を行う。貸借対照表への理解を深める。
		【演習】貸借対照表を見る	グループで対前年比で特に増減した項目を調べ、要因について想定し、グループごとに発表し、講師がコメントを行う。
		【演習】共通点を見つけよう	グループで損益計算書、貸借対照表を見て、数字上の共通点や関連項目を発見、検討し、グループごとに発表し、講師がコメントを行う。
		【演習】各年の特徴を見つけよう	グループで複数年度の貸借対照表、損益計算書から、各年の特徴を見つけ、グループごとに発表し、講師がコメントを行う。

◆ 実績

■2008年5月 大手医療検査企業様
 新入社員研修

◆ 受講者の声

「自社の数字を使ってグループワークをすることにより、皆で協力して理解を深めることができた」
 「数字で企業の状態を見るおもしろさと難しさを知りました」
 「財務諸表は難しいものと思っていましたが、わかりやすく教えていただけたので理解できました」
 「数字から会社の経営状態など多くのことが学べたのもっと理解を深めれば楽しいと思った。」